

ごみ分別早見表等の作成・改訂経緯
および課題についての研究

Study on details of creation and revision of quick reference of household
waste and their problems

吉光寺 里早

環境政策・計画学科において学士(環境科学)の学位授与の資格の
一部として滋賀県立大学環境科学部に提出した研究報告書

2013 年度

承認

指導教員

目次

第一章 序論.....	1
1-1 背景.....	1
1-2 目的・意義.....	2
1-3 研究の構成.....	2
1-4 研究方法.....	2
1-5 研究の用語.....	3
〈参考文献〉	3
第二章 家庭ごみ分別早見表等の特徴.....	5
2-1 はじめに.....	5
2-2 目的.....	5
2-3 調査方法.....	5
2-3-1 調査対象地	5
2-3-2 早見表等の収集方法	5
2-3-3 調査方法	6
2-4 調査結果.....	7
2-4-1 早見表等の種類・形態	7
2-4-2 ごみの掲載数	8
2-4-3 早見表のごみの並べ方	10
2-4-4 早見表等の外観	10
2-4-5 詳細なルールの記載	11
2-4-6 品目名の表示方法	11
2-5 まとめ.....	12
第三章 家庭ごみ分別早見表等作成・改訂経緯の把握.....	15
3-1 はじめに.....	15
3-2 目的.....	15
3-3 調査方法.....	15
3-4 アンケート調査内容	15
3-5 調査結果.....	16
3-5-1 回答率	16
3-5-2 回答者に関する質問	16
3-5-3 作成経緯	16
3-5-4 作成当初の状況	17

3-5-5	作成の方法	18
3-5-6	作成時の工夫・苦勞	19
3-5-7	早見表等作成の効果	20
3-5-8	改訂	21
3-5-9	市民への配布方法	21
3-5-10	市民からの意見・質問・要望	22
3-5-11	市民から好評・不評な部分	23
3-5-12	今後の課題	25
3-6	まとめ	28
第四章	家庭ごみ分別早見表等の特徴と市民評価との比較	31
4-1	はじめに	31
4-2	目的	31
4-3	調査方法	31
4-3-1	調査方法	31
4-3-2	調査項目の選定	31
4-3-3	市名の表示方法	31
4-4	調査結果	32
4-4-1	早見表のごみの掲載数	32
4-4-2	早見表等の詳しさ	32
4-4-3	早見表等のわかりやすさ	33
4-4-4	市に寄せられる質問の多さ	34
4-5	ヒアリング調査	34
4-5-1	ヒアリング対象者の属性・ヒアリング日	34
4-5-2	調査結果	35
4-6	まとめ	35
第五章	結論	37
5-1	本研究の結論	37
5-1-1	目的1の結論	37
5-1-2	目的2の結論	37
5-1-3	目的3の結論	37
5-1-4	研究全体の考察	38
5-2	今後の課題	38
謝辞		39

図表目次

図 1-1	家庭ごみ分別早見表(兵庫県川西市の家庭ごみ分別早見表の一部抜粋)	1
図 1-2	家庭ごみ分別一覧表(和歌山県紀の川市の家庭ごみ分別一覧表の一部抜粋)	2
表 2-1	調査対象地一覧	5
表 2-2	早見表等の入手方法とその割合	6
表 2-3	家庭ごみ分別早見表等の特徴を分類する項目	6
表 2-4	インターネット検索機能の有無, 早見表の有無, ポスターの有無, 外国語版の早見表等の有無	7
表 2-5	外国語版早見表等の数(n=36)	7
表 2-6	外国語版早見表等の内訳(n=36)	8
表 2-7	ごみの掲載の調査時のルール	8
表 2-8	調査対象地のごみの掲載数	9
表 2-9	ごみの掲載数の割合(n=150)	9
表 2-10	ごみの掲載数(n=150)	10
表 2-11	絵・写真の有無, 絵・写真が効果的か, 区分ごとの色分けの有無	10
表 2-12	詳細なルールの記載	11
表 2-13	収集できないごみについての記載内容	11
表 2-14	早見表の品目の表示方法	12
表 2-15	複数名がある場合の掲載方法	12
表 2-16	複数名がある場合の検索可能方法	12
表 3-1	アンケートの質問内容・回答方法・有効回答数	15
表 3-2	回答者に関する質問(n=97)	16
表 3-3	早見表等の作成の理由(n=30)	16
表 3-4	早見表等を作成した年度(n=28)	17
表 3-5	早見表等の作成に関わった人(n=29)	17
表 3-6	早見表等の作成に関わった人数(n=26)	17
表 3-7	早見表等の作成に要した期間(n=25)	17
表 3-8	早見表等の作成の際に参考にしたもの(n=30)	18
表 3-9	参考にした点(n=20)	18
表 3-10	市民の声の活用方法(n=15)	18
表 3-11	工夫した点(n=23)	19
表 3-12	苦勞した点(n=26)	19
表 3-13	早見表等作成前と比較したときの効果(n=28)	20
表 3-14	早見表等の改訂経緯・時期(n=97)	21
表 3-15	早見表等の市民への配布方法(n=97)	21

表 3-16	早見表等についての市民からの意見・質問・要望	22
表 3-17	早見表等について市民から好評な部分	23
表 3-18	早見表等について市民から不評な部分	24
表 3-19	早見表等について賛否両論の意見	25
表 3-20	配布方法に関する今後の課題	25
表 3-21	作成・改訂に関する今後の課題	26
表 3-22	情報発信方法に関する今後の課題	26
表 3-23	作成時の苦勞に関する今後の課題	27
表 3-24	見やすさと分かりやすさに関する今後の課題	27
表 3-25	情報量に関する今後の課題	28
表 4-1	調査項目と回答内容, 回答数	31
表 4-2	早見表のごみの掲載数についての回答内容と市数	32
表 4-3	早見表等の詳しさについての調査結果	32
表 4-4	早見表等のわかりやすさについての調査結果	33
表 4-5	市に寄せられる質問の多さについての調査結果	34
表 4-6	ヒアリング対象者の属性・ヒアリング日	35
表 4-7	ヒアリング結果	35
付録	家庭ごみ分別早見表等についてのアンケート	1
引用ウェブページ	コピー1	8
引用ウェブページ	コピー2	8

第一章 序論

1-1 背景

現在のごみは、複合素材のもの（「はさみ」はプラスチックとステンレスの複合素材でできている）や同じ製品でも異なる素材でできているもの（「ざる」はプラスチック製、金属製などがある）などがあり、ごみの種類は実に多岐にわたる。それにより、分別に混乱が生じることが多々ある。

自治体では住民のごみ分別の指標として、自治体毎に独自の家庭ごみ分別早見表(図 1-1)、家庭ごみ分別一覧表(図 1-2)、家庭ごみ分別カレンダーなどの情報物を作成・配布しており、形態は詳細な冊子状のものから一枚物のチラシまで、実に様々である。これらは自治体から住民にごみ分別に関する情報を提供する、重要なものであると考えられる。

しかし住民に対し情報が正しく伝わらず、トラブルが起きる場合もある¹⁾。また、自治体における家庭ごみ分別早見表等に関する研究は、2009 年度金谷研究室近藤の卒業論文²⁾のみである。CiNii³⁾にて「ごみ」「分別」「表」等のキーワードで論文検索を行ったが、関連する研究は見つからなかった。近藤卒論では、ごみの掲載数が多いほど分別区分が不明なごみが少ない傾向があることがわかった。しかし、早見表等に対する市民の意見や評価、早見表等がどのような経緯で作成されたのか、早見表等の問題点などは明らかにされていない。よって本研究では家庭ごみ分別早見表等に着目し、研究を進める。

品 目	区 分	取扱い・出し方
あ		
アイスクャンディーの棒	可燃	
アイスクリームの容器・包装・ふた(紙製)	可燃	
アイスクリームの容器・包装・ふた(プラスチック製)	プラ	すすいで出す
アイスクリーム用使い捨てスプーン	可燃	
アイスノン	可燃	
アイスピック	不燃	危なくないようにする
アイロン	不燃	
アイロン台	大型	
アイロンプリントの紙	可燃	
アイロン用のりの容器(スプレー缶)	カン	必ず使い切って。穴を開ける必要はありません
アイロン用のりの容器(プラスチック製)	プラ	すすいで出す

図 1-1 家庭ごみ分別早見表(兵庫県川西市の家庭ごみ分別早見表の一部抜粋)



図 1-2 家庭ごみ分別一覧表(和歌山県紀の川市の家庭ごみ分別一覧表の一部抜粋)

1-2 目的・意義

本研究の目的は、家庭ごみ分別早見表等の特徴(形態や掲載されている内容)を明らかにすることを目的 1、家庭ごみ分別早見表等が作成・改訂された経緯を明らかにすることを目的 2、わかりやすい早見表等の特徴を明らかにすることを目的 3 とする。

本研究により、自治体が住民にとってわかりやすいごみ分別早見表等を作成できると考えられる。

1-3 研究の構成

第一章では、本研究における背景、目的・意義、構成、方法、用語について詳述する。

第二章では、調査対象地の家庭ごみ分別早見表等の特徴(形態や掲載されている内容)について詳述する。

第三章では、調査対象地も家庭ごみ分別早見表等が作成された経緯、また改訂される経緯について詳述する。

第四章では、家庭ごみ分別早見表等の特徴と市民評価を比較し、わかりやすい早見表等の特徴について記述する。

第五章では、本研究の目的に対するまとめを行い、本研究の課題を示し、結論とする。

1-4 研究方法

研究の目的を次のような方法で達成する。

- (1)調査対象地の 150 市のごみ分別早見表等を入手し、ごみの掲載数などの情報をまとめる。
なお調査対象地は、全国の全 788 市³⁾の中から無作為抽出によって選出した 150 市とした。
- (2)150 市の早見表等を、ごみの掲載数や絵・写真の有無などの項目によって分類し、それぞれの特徴を把握する。
- (3)各対象自治体へのアンケート調査から、ごみ分別早見表等の作成の経緯や市民からの評価を明らかにする。
- (4)アンケートで得た情報と各早見表等の特徴を比較し、どのような早見表等がわかりやすいのか分析・考察を行う。

1-5 研究の用語

○家庭ごみ分別早見表等

家庭ごみ分別早見表，家庭ごみ分別一覧表，家庭ごみカレンダー（収集日に関するもの）といった，自治体が市民に配布している家庭ごみに関する情報物の総称．紙媒体のものもインターネット上のものも，両方含む．

○作成

その市について，一番初めに作成された家庭ごみ分別早見表等を作成すること．

〈参考文献〉

- 1) 朝日新聞(滋賀)：ゴミ分別に迷ったら～カギは容器であるか否か～，2009-08-18
- 2) 近藤文：自治体における家庭ごみ分別早見表等の内容把握と比較評価 ―近畿地方を対象として―，2009年度滋賀県立大学環境社会計画専攻卒業論文
- 3) CiNii：<http://ci.nii.ac.jp/> ，2014-01-05

